

# Håfa Adai

グアム日本人学校（全日制）学校日より  
平成27（2015）年4月29日

## 「深く学ぶ子」「共に生きる子」「がんばり抜く子」

全校遠足・ブルースカイ歓迎式を通して

教育目標の具現化を目指す取り組みの一つとして、4月24日（金）に全校遠足・ブルースカイ歓迎式が実施されました。この遠足のねらいは、①ブルースカイ班で活動し一体感を高め、協力し合ってさらに仲良くできるようにすることと、②グアムの自然に触れ、良さに気づき親しもうとする態度を育てることの二つです。目的地は、ラムラム山（約406m）の次に高いフムヨンマンガロ山（約391m）です。フムヨンマンガロ山は、カトリック教徒の聖地でイースターの時には十字架を背負って登ると聞きました。途中、目印に小さな十字架があり、頂上には大きな十字架がたっていました。入学したばかりの1年生が心配でしたが、中学生や小学部高学年が1年生の荷物を持ってあげたり、手を引いて優しく声をかけたり、大変良く面倒をみてくれ一人も脱落することなく登山ができ、雄大で美しい景色を堪能し、心地よい風を全身で感じることができました。



<グアムの自然を満喫>

ニミッツビーチで昼食をとり、ブルースカイ歓迎式が行われました。ブルースカイ委員会の人たちが中心となって進行され、今年度仲間入りした3人と1年生9人の12人が、一人ひとり元気よくあいさつしました。こおり鬼とドッチビーのゲームの後、公園のゴミ拾いをしました。

サッカーのブラジルワールドカップの時にも、観戦後、日本の応援団はブルーのビニル袋を持ち、会場をきれいに掃除して



<優しさあふれる光景>

いたニュースが話題となり、日本人のマナーの良さが世界中に評価されました。

このグアムでも、ブルースカイ委員会の伝統が受け継がれ、相手やその場を思いやる心が、児童生徒一人一人の態度（姿）となって現れていることにとっても嬉しくなりました。

「時を守り」「場を清め」「礼を正す」、最後までやり通した子ども達に拍手を送りたいと思います。

次は、運動会でその素晴らしい姿が見られることと思います。5月末から運動会の練習が本格的に始まります。健康管理に気をつけ、充実した日々を過ごしましょう。（福澤 諭）



<来たときよりも美しく>